

### Q3、Q4 の主な意見

#### ■ Q3 の主な意見

- ・ 正直、理想と現実とは違う。目の前の状況にあった対策を考えられるのが一番だと思うが、判断は難しい。
- ・ 利益最優先は世界の恥。
- ・ 石炭⇒クリーンな原発は、原発推進の方便。
- ・ なんととしても原発をなくしたい。
- ・ 再生可能エネルギーにシフトしてほしい。
- ・ 技術革新によるエネルギーの創出に期待しています。
- ・ 脱原子力、脱炭素で調達可能なエネルギー量を想定し、需要側をマネジメントする方向を打ち出し、イノベーションに投資する。
- ・ 水素燃料やカーボンリサイクル等、新しいエネルギー開発も今後期待できるのではないのでしょうか。
- ・ エネルギー源の創出とエネルギーの使い方を考えるべき。
- ・ 将来の安全・安心を考えた時、幼児・青少年への環境教育が重要。
- ・ CO2 排出量の削減において、原発が一番効率が良い事は、数字上正しい見解。しかし、福島原発の爆発後の対応を見ても明確な通り、「原発リスク」は、消費者の生活、地域の文化・慣習、国のあり方を全て変えてしまう。これは、「想定外」ではなく、ロシアのチェルノブイリのケースを見ても「想定内」。よって、今大事なものは、(1)再生可能エネルギーの安定供給の国策化、(2)安定供給が可能になるまでの暫定期間としての石炭火力エネルギーの使用といった 2 段階アプローチで、エネルギーシフトしていくことが必要。併せて、消費生活において、経済政策を含めたライフスタイルのダウンサイジング化も必要。今流行りの「One Team」と「One All」は違う。とても安直で簡易な意見に流されがちな風潮が、エネルギー政策にも出ていることを懸念している。

#### ■ Q4 の主な意見

- ・ 既得権益、近視眼的発想しかない政治家には任せられないと思います。
- ・ 誰もが自分の問題として受け止める状況。
- ・ 全ての国民が考えるべき。
- ・ 原爆で被害を受けた日本が選択してはいけないエネルギーは原発である。この考えは子孫にもつないでいかねばならぬものだと考える。
- ・ 原発を使わないで、エネルギーを自給しているデンマークを参考にする。
- ・ 現在原子力が稼働していなくともエネルギーは今のところ何とかなっている。世界的に異常気象による甚大な自然災害を考えると、原子力は不安。原発施設の定期的は点検でも時々、異常事態が報道されたりする。ヒューマンエラーもあり得るので使わなくて済むなら使わないようにしたい。
- ・ 法律・税制によって、エネルギーの無駄遣いを抑制するべきだ。
- ・ 国民が知らない内に、経済のために原子力が建設され、国民に対してエネルギーについての説明が無いことが不満である。